

# 新年度を迎え ↳ 理事会で事業計画を協議・決定 ↳

(令和4年1月～3月)

## ■北農五連委託事業に係る現地調査等

(1月9日・10～11日)

北農五連から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

## ■北海道農産物協会委託事業に係る中間および最終報告

(1月19日、3月18日)

北海道農産物協会から受託した研究課題について、委託者に対し、調査研究内容の中間および最終報告をそれぞれ行いました。

## ■自主研究「北海道農業協同組合史に関する調査研究」に係る研究会

(1月20日、2月18日、3月31日)

自主研究課題について、研究者の同席によりリモート対応等による研究会を開催しました。

## ■自主研究「コロナ禍を契機とした新しい生活様式の構築

―農村からの提言―に係る研究班会議

(1月31日、3月22日)

自主研究課題について、研究者の同席により研究班会議を行いました。

## ■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る研究班会議

(2月4日)

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題について、研究者の同席により調査結果の取りまとめ等に係る研究班会議を行いました。

## ■中央会委託事業に係る研究班会議

(2月4日)

中央会から受託した研究課題について、研究者の同席により調査結果の取りまとめ等に係る研究班会議を行いました。

■北農五連委託事業に係る報告会 (2月7日、3月1日)

北農五連から受託した研究課題について、オンラインでのリモート対応による研究報告会を開催しました。

■令和三年度農業総合研修会の開催 (2月15日)

「日本と北海道の食はエシカルを目指す」をテーマに、農畜産物流通コンサルタントの山本謙治氏による講演を、オンラインによるリモート対応で行い、六八名が参加しました。講演内容は今号の「特集コーナー」に掲載しています。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る現地調査 (2月16日)

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る報告会 (2月21日)

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題について、報告先別にオンラインでのリモート対応と、対面による研究報告会をそれぞれ開催しました。

■中央会委託事業に係る報告会 (3月3日・4日・15日)

中央会から受託した研究課題について、研究報告会を開催

しました。

■北海道農業公社委託事業に係る現地調査 (3月13～14日)

北海道農業公社から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

■令和三年度参与会の開催 (3月14日)

令和三年度参与会を開催し、参与の皆様から貴重なご意見を多数いただき、今後の事業推進への反映に向けて鋭意、取り進めてまいります。

■自主研究「学校給食向け地場産青果物の集出荷体制に関する調査研究」に係る現地調査 (3月16日)

自主研究課題について、現地調査を行いました。

■ホクレン委託事業に係る報告会 (3月22日)

ホクレンから受託した研究課題について、研究報告会を開催しました。

■令和三年度第五回理事会の開催 (3月30日)

令和三年度事業ならびに調査研究事業の実施結果について報告するとともに、令和四年度事業計画案ならびに収支予算案等について協議し、決定いたしました。



参与会 (3.14)



第5回理事会 (3.30)

**研究会・研修会等への報告者・講師の派遣**

○「第一七回村づくり・

人づくり冬期報徳研修会」

主催 一般社団法人北海道

報徳社

とき 1月19～21日

テーマ 報徳概論、

二宮尊徳の思想、

北海道報徳の歴史

講演 石田 健一

(当研究所・常務理事)

○「第一七回村づくり・

人づくり冬期報徳研修会」

主催 一般社団法人北海道

報徳社

とき 1月19～21日

テーマ 報徳仕法の近代性に

学ぶ

講演 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

○「農民参加による農業農村

開発(B)」

主催 JICA北海道

とき 2月25日

テーマ 「報徳」精神と農業

講演 石田 健一

(当研究所・常務理事)

**人事異動**

○「中央アジア地域農民組織

強化コース」補完研修

主催 JICA北海道

とき 2月7～9日・

11日・16～18日・

21日

テーマ アクションプラン

作成指導

コース長 坂下 明彦

(当研究所・所長)

△新任▽

研究部長 今野 貴紹

(3月1日付)

参与道 下 徹

(4月1日付)

専任研究員 棚橋 知春

(4月1日付)

△退職▽

専任研究員 脇谷 祐子

(3月31日付)